

令和8年度 滋賀県民総スポーツの祭典

第64回滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会 実施要綱

1. 目的

障害者がスポーツを通じて体力の維持増進を図り、社会参加と相互交流を促進させるとともに、障害者に対する社会の理解と認識を深め、共生社会の実現を推進する。また「わたSHIGA輝く障スポ」開催で高まった障害者スポーツの関心と情熱を継承し、県内における障害者スポーツの更なる普及と競技力の向上を図ること、および第26回全国障害者スポーツ大会出場選手選考のための記録を取ることを目的とする。

2. 名称

第64回滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会

3. 主催(予定)

滋賀県、彦根市、草津市、守山市、甲賀市、野洲市、(一社)滋賀県障害者スポーツ協会、(公財)滋賀県スポーツ協会

4. 共催(予定)

大津市、長浜市、近江八幡市、栗東市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

5. 協力(予定)

(一財)滋賀陸上競技協会、(一社)滋賀県水泳連盟、(一社)滋賀県卓球協会、滋賀県アーチェリー協会、滋賀県障害者フライングディスク協会、滋賀県ボウリング連盟、滋賀県ポッチャ連盟、滋賀県ソフトボール協会、(公社)滋賀県サッカー協会、(一社)滋賀県バスケットボール協会、滋賀県バレーボール協会

6. 後援(予定)

滋賀県教育委員会、(公財)滋賀県身体障害者福祉協会、(公社)滋賀県手をつなぐ育成会、滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会、滋賀県特別支援教育研究会、滋賀県高等学校等教育研究会特別支援教育研究部会、滋賀県特別支援学校体育連盟、(福)滋賀県社会福祉協議会、日本赤十字社滋賀県支部

7. 競技実施日・会場等

【個人競技】

競技(参加対象)	開催日 予定時間	会場(所在地)
(A) アーチェリー (身体障害者)	2026年5月30日(土) 9:30~15:30	県立障害者福祉センター (草津市笠山8-5-130)
(B) 水泳 (身体・知的障害者)	2026年6月27日(土) 9:30~15:30	インフロンピア草津 アクアティクスセンター (草津市西大路町13-10)
(C) ボウリング (知的障害者)	2026年7月12日(日) 10:00~13:30	GIGO BOLW ビバシティ彦根 (彦根市竹ヶ鼻町43-1)
(D) 卓球 (身体・知的・精神障害者)	2026年8月8日(土) 9:00~16:30	野洲市総合体育館 (野洲市富波甲1339)
(E) ポッチャ (身体障害者)	2026年8月29日(土) 10:00~17:00	草津市立滋賀トヨタアリーナ (草津市野村3-3-27)
(F) フライングディスク (身体・知的障害者)	2026年9月26日(土) 9:30~15:30	水ロスボートの森ニッパツ陸上競技場 (甲賀市水口町北内貴230)
(G) 陸上 (身体・知的障害者)	2026年10月4日(日) 8:45~16:00	平和堂HATOスタジアム (彦根市松原町3028)

【団体競技】

競技(参加対象)	開催日 予定時間	会場(所在地)
(H) バレーボール (精神障害者)	2026年11月14日(土) 10:00~15:00	県立障害者福祉センター (草津市笠山8-5-130)
(I) ソフトボール (知的障害者)	2026年11月15日(日) 8:30~17:00	守山市民運動公園 (守山市三宅町100)
(J) バスケットボール (知的障害者)	2026年11月15日(日) 8:30~17:00	守山市民体育館 (守山市三宅町100)
(K) サッカー (知的障害者)	2026年11月15日(日) 8:30~17:00	ビッグレイク (守山市服部町2439)

(A) アーチェリー競技は荒天時中止。

(F・G) 陸上競技・フライングディスク競技は荒天時全種目中止。

(I) ソフトボール競技はグラウンド不良の場合は中止。

8. 競技種目

競技種目は、全国障害者スポーツ大会実施種目とし、様式1-1~7裏面の「第64回滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会 競技種目および障害区分表」のとおりとする。

9. 参加資格

- 県内在住で身体障害者手帳を有する、2026年4月1日時点で12歳以上の者。
- 県内在住で療育手帳を有するか取得に準ずる障害がある2026年4月1日時点で12歳以上の者。
- 県内在住で精神保健福祉手帳または自立支援医療(精神通院)受給者証を有する、2026年4月1日時点で12歳以上の者。
- (1)から(3)項に規定する者のうち、全国障害者スポーツ大会の障害区分に該当する者。(様式1-1~7裏面の「第64回滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会競技種目および障害区分表」の障害区分に該当する者。)但し、身体障害者の「低身長」の障害区分は身体障害者手帳の交付を受けず、医療受給者証を有する者の参加を認める。

10. 参加申込み方法

【個人競技】 参加希望の場合、別紙 第64回滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会「参加申込書」(様式1-1~7)により、提出期限内に所轄の市町障害福祉窓口へ申し込むものとする。また、身体・知的・精神障害との重複障害で「ぼうこうおよび直腸機能障害以外の内部障害」がある者ならびに「ダウン症」の障害区分で出場する者は「参加承諾書」(選手以外のご家族等が記載すること。)を添えて申し込みをすること。なお、フライングディスク、陸上、卓球については養護学校単位での参加取りまとめがある場合のみ、学校単位での参加とする。

【団体競技】 参加希望チームは事前エントリーとして「チーム名」「代表者連絡先」を提出期限内に大会事務局へ報告する。

11. 参加種目および障害区分

【個人競技】

(1) 2027年第26回全国障害者スポーツ大会(宮崎大会)への出場希望がある場合

様式1-1~7の最後の設問で全国大会出場「希望する」に○をして申し込みをすること。未記入の者は全国大会出場希望なしとみなす。

(2) 陸上競技(身体障害・知的障害)

① 出場可能種目は2種目以内とする。(2種目の場合は午前から1種目、午後から1種目を選ぶこと。)全国大会出場希望者は必ず2種目を選び出場すること。(4×100mリレーは含まない。)

② 4×100mリレーについては、各地区および学校等から参加できる。但し、リレーのみの参加は認めない。地区からの出場は、当日の参加選手の中から各地区で選考し、メンバー表を提出すること。また、学校等からの出場は、個人申込とともにエントリーを行うこと。なお、リレーメンバーには女子が1名以上入ること。(リレー該当の障害区分以外の選手および男子のみのチームはオープン参加とする。)

(3) ボウリング競技(知的障害)

① 全国大会希望者は3ゲーム(デュアルレーン方式)、その他は一般参加2ゲーム(シングルレーン方式)とし、貸し靴が必要な場合は個人負担とする。

② 全国大会希望者クラスに出場する男子はアベレージ130点以上が見込めるものを対象とする。

③ 全国大会希望者クラスに出場する女子はアベレージ100点以上が見込めるものを対象とする。

(4) 水泳競技(身体障害・知的障害)

① 出場可能種目は1人3種目以内とする。(4×50mリレーは含まない。)

② 全国大会出場希望者は年齢区分・障害区分に該当する2種目以上を選び出場すること。(様式1-2裏面で確認すること。)

③ 4×50mフリーリレーについては、50m完泳出来る者を対象とし、チーム編成申込み(4名1組)と個人申込みを選ぶこと。チーム編成申込みの場合は、チーム名および自分以外のメンバー3名の氏名を記入すること。個人申込みの場合は、大会主催者で4人1組のリレーメンバーを組み合わせることとする。但し、リレーのみの参加は認めない。

(5) アーチェリー競技(身体障害)※視覚障害を除く

① 競技種目はリカーブ部門、コンパウンド部門を設け、各部門で30mダブルラウンドおよび50m・30mラウンドを実施する。

② それぞれの実施種目で210点(72射)以上の得点が見込める者を対象とする。

③ 荒天時中止する。

(6) フライングディスク競技(身体障害・知的障害)

全国大会出場希望者は、アキュラシー競技とディスタンス競技の2種目に出場すること。

(7) 卓球競技(身体障害・知的障害・精神障害)

① 競技は一般卓球とサウンドテーブルテニス(STT)を行なう。

(8) ボッチャ競技(身体障害)

① 参加対象は様式1-5の裏面にある障害区分に該当し、正式参加を希望する者。また、障害区分に該当しない者および正式参加を希望しない者はオープン参加とする。

② 正式参加の者は様式1-5に、オープン参加の者は別紙様式1-1に必要事項を記入の上、申込みをすること。

③ 正式参加は競技スタイル(立位・座位)に分けて1対1の個人戦を行う。性別・年齢・障害区分毎には分けずに競技を行うこととする。オープン参加は競技スタイルを問わず、正式参加と分けて個人戦を1人2試合行うものとする。

【団体競技】詳細については別に定める

12. 参加選手・組み合わせの決定

【個人競技】

提出された申込書に基づき、主催者において組合せを決定するものとする。

【団体競技】

各チームから提出されたチーム申込書に基づき、主催者において組合せを決定するものとする。

13. 競技規則

競技規則は、(公財)日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」と本大会申し合わせ事項による。

14. 表彰

【個人競技】

表彰は、個人表彰・優秀選手表彰とする。また、個人競技の競技支援者(陸上の伴走者・ボッチャのランプオペレーター)についても選手と同様に表彰する。

【団体競技】

各競技の優勝チームおよび選手を表彰する。(バスケットボールを除く。)

15. その他

(1) 大会には、主催者が一括して傷害保険に加入するが、事故等が発生した場合の応急処置を除き一切の責任は負わないので、参加に当たって必要な場合は、医師の診断を受けるなど自己の責任において健康と安全については十分留意すること。

(2) 年齢区分は障害種別を問わず1部(12歳~19歳)・2部(20歳~39歳以上)・3部(40歳~59歳)・4部(60歳以上)に分け(アーチェリー競技・ボッチャ競技を除く)て競技するものとする。但し、年齢区分共有で実施する種目もあるため、様式1-1~7の裏面にある障害区分表を確認すること。なお、卓球競技の精神保健福祉手帳または自立支援医療受給者証を有する者については、年齢区分を設けないものとする。

(3) 本大会は、第26回全国障害者スポーツ大会出場候補選手の選考記録会を兼ねるものとする。